第５４回北九州芸術祭参加・劇団青春座２２７回公演

**「若戸大橋物語」**葉月けめこ・作　　馬淵理麻・演出　　上西昭南・制作

**洞海湾に、金門橋のような橋を架けたい***!!*

**牧師にして若松市長・吉田敬太郎が、東洋一のつり橋に挑む。**

昭和５年４月２日、春の大祭でにぎわう若松おえべっさんに詰めかけた人たちを乗せ、若戸渡船が転覆。

７３人の犠牲者を出した。救助に当たった吉田敬太郎は、若松・戸畑をつなぐ大動脈の必要性を痛感。

父・磯吉の助言もあり、トンネル案が浮上。しかし昭和６年に始まる満州事変から太平洋戦争により、頓挫。

　戦後の昭和２７年、若松市長となった吉田敬太郎は、サンフランシスコの金門橋のような橋を洞海湾に架ける

ことを決意。昭和３７年、東洋一のつり橋「若戸大橋」を実現。

翌昭和３８年「北九州市」誕生に大きな華を添えた。

●特別出演 ひびしん五平太ばやし部

“オンナたち”が創る”オトコ”の夢　　　**※裏面**

初戯曲・葉月けめこ　（本名・藤田＜村口＞育世）

　　　（放送作家・ライター・作詞家・戸畑高校卒）

初演出・馬淵理麻

　　　（平成８年青春座入団・小倉商業高校卒）

●主題歌「」　作詞・葉月けめこ

作曲・歌・冨永裕輔（戸畑高校・早稲田大卒）

或るひとは　朝もやの中を

或るひとは　夜更けのまちで

或るひとは　心をくだき

或るひとは　その手汚して

選んだものか　与えられたものか

行けども行けども　荷物は重くなるばかり

振り返れば　友の顔

ビー玉　じゃいけん　ザリガニとり

見上げれば　道しるべ

ふるさとの空に　大きな橋

其のひとは　愛を乞うて

其のひとは　東を目指す

其のひとは　今日も泣いて

生きるため　嘘おぼえた

知らぬ間に　あいてたポケットの穴

こぼれていたのは　いつかの夢か憧れか

耳すませば　父の声

びびんこ　竹馬　チャンバラごっこ

見上げれば　道しるべ

こわごわ歩いた　真っ赤な橋

雨が花　大地に咲かせるよう

涙はやがて　笑顔の種を芽吹かせる

目を閉じれば　母の顔

夕暮れ　あじさい　帰りの道

見上げれば　いつもそこに

変わらず 待ってる　真っ赤な橋

立ち止まり　うつむく日々がつづいたとしても

見上げれば　道しるべ

ふるさとの空に　真っ赤な橋

２０１６・５・２１（土）１３；３０開演　１８：３０開演

　　　　　５・２２（日）１３：３０開演（開場はいずれも３０分前）

北九州芸術劇場　中劇場（リバーウォ―ク北九州６階）

全自由席

一般￥３，０００　　学生（大学生以下）￥２，０００（当日共）

◇未就学児は親子室あり（無料・要予約・２組）

チケットは

　北九州芸術劇場プレイガイド（店頭のみ）（リバーウォ―ク北九州５Ｆ）　　Ｔｅｌ　０９３－５６２－２６５５

　小倉井筒屋プレイガイド（新館８Ｆ）Ｔｅｌ　０９３－５２２－２６８２

北九州ソレイユホールプレイガイド（店頭のみ）Ｔｅｌ　０９３－５９２－５４０５

ローソンチケット（Ｌコード８５７４１）Ｔｅｌ　０５７０－０８４－００８

　セブンイレブン・チケットぴあ（Ｐコード４４８―８８９）　Ｔｅｌ　０５７０－０２－９９９９

　劇団青春座（郵送・無料）　Ｔｅｌ　０９３－９２２－４９９５

●第５４回北九州芸術祭

主催　北九州文化連盟　毎日新聞社

共催　北九州市　北九州市教育委員会

特別協賛　（公財）芳賀教育文化振興会　福岡ひびき信用金庫

主管　劇団青春座　Ｔｅｌ＆Ｆａｘ　０９３－９２２－４９９５